

資料提供	
平成27年1月5日	
担当課	販路拡大・輸出促進課 (太田、田中)
電話	0857-26-7832
ファクシミリ	0857-21-0609

横綱「白鵬」関に「白鵬85の3」の子の鳥取和牛肉を贈呈

鳥取県知事とJA全農鳥取県本部長が、日本一の検定成績を持つ県種雄牛「白鵬85の3」の子の鳥取和牛肉や県産農産物を初場所前の横綱白鵬関に、大鵬の記録を抜いて優勝回数単独日本一となっていたきたいという気持ちを込めて下記のとおり贈呈します。

取材を希望される方は、お手数ですが別添取材申し込みに必要な事項を記入の上、1月7日(水)17時までにファクシミリにてお申し込みください。

記

- 日時 平成27年1月9日(金) 15:00～
- 場所 「宮城野部屋」 東京都墨田区緑4丁目16-3
- 贈呈者 ひらいしんじ 平井伸治知事、やまだしんじ 山田晋爾 JA全農鳥取県本部長
- 受取者 横綱「白鵬」関
- 贈呈品
 - ・「白鵬85の3」の子の鳥取和牛肉50kg
 - ・きぬむすめ60kg
 - ・ねばりっこ10kg
 - ・白ねぎ9kg
- 内容(宮城野部屋と調整中)
 - ・知事挨拶
 - ・知事、JA全農鳥取県本部長から白鵬関に「白鵬85の3」の子の鳥取和牛肉等を贈呈
 - ・フォトセッション
 - ・試食、歓談
- 命名の由来
「白鵬85の3」という名号は、本牛が生産された農場の故生田和史氏いくたかずふみが「白鵬関」のファンであったことから、その産肉能力に期待を込めて命名した。「85の3」は祖父牛である「白清85の3」からとったもの。
- その他
白鵬関は初場所で優勝すれば幕内優勝回数33回となり、元横綱大鵬関の記録を抜いて歴代単独1位となる。

取材申し込み

(FAX:03-5212-9079)

※1/7(水)17:00までにご返信ください。

横網 白鵬関へ「白鵬85の3」の子の鳥取和牛肉の贈呈

【開催期間】2015年1月9日(金)15:00~15:30〈予定〉

【開催場所】宮城野部屋(東京都墨田区緑4丁目16-4)

・ご来場予定日時 : _____

・媒体名 : _____
(○でお囲みください) TV/ラジオ/新聞/雑誌/WEB/その他

・掲載、O.A.予定 : _____

・御社名、部署名 : _____

・取材代表者名 : _____

・取材人数 : ペン _____ (_____)名

ペン&スチールカメラ (_____)名

スチールカメラ (_____)名

ムービーカメラ (_____)名

・ご連絡先(当日連絡可能なもの) : _____

・メールアドレス : _____

<< 取材に関する問い合わせ先 >>

鳥取県東京本部 梅田

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館10階

電話:03-5212-9077 ファクシミリ:03-5212-9079、9171

E-mail tokyo@pref.tottori.jp

参考

資料提供		
平成26年12月17日		
担当課 (担当者)	畜産課 (野儀)	畜産試験場 (高取)
電話 ファクシミリ	0857-26-7290 0857-26-7292	0858-55-1362 0858-55-0330

「白鵬85の3 (はくほうはちじゅうごのさん)」号が日本一の成績で現場後代検定終了 (日本一の本県基幹種雄牛「百合白清2 (ゆりしらきよに)」号を大きく上回る)

今年9月に、現場後代検定成績を県内歴代最高、BMS（霜降りの入り具合を示す指標）とロース芯面積では日本一の成績を収めた種雄牛「百合白清2」号を県基幹種雄牛として選抜しましたが、その兄牛である「白鵬85の3」はさらに大きく上回る成績で現場後代検定を終了しました。本県は全国1位、2位の種雄牛を所有する県となり、今後はこれら種雄牛を活用した鳥取和牛のブランド価値向上と産地活性化に取り組んでいきます。

1 「白鵬85の3」号について

- ・生年月日：平成22年1月3日生（4歳）
- ・産地：東伯郡琴浦町
- ・血統：父「勝忠平（かつただひら）」 母「みどり」
（「百合白清2」とは母が同じ）

2 現場後代検定成績

- ・現場後代検定期間：平成24年12月～平成26年12月
- ・調査頭数：20頭
- ・現場後代検定成績：

種雄牛	頭数	枝肉重量	ロース芯面積	BMS ナンバー	上物率	5等級率
白鵬85の3	20頭	497.4kg	72.2cm ²	9.6	100%	90.0%
百合白清2	18頭	510.5kg	68.7cm ²	9.2	100%	72.2%
福増	27頭	466.3kg	64.1cm ²	7.8	85.2%	44.4%
全国*	288千頭	458.7kg	56.5cm ²	5.9	63.7%	21.4%

「福増（ふくます）」は「百合白清2」に先立ち今年7月に当時県内歴代最高成績で現場後代検定を終了した県基幹種雄牛。

「百合白清2」の成績判明までのロース芯面積の全国1位は義平福（よしひらふく：秋田県）の67.7cm²、BMSナンバーの全国1位は高百合（たかゆり：福島県）他2頭の8.4。

全国*：平成24年度に全国で出荷された和牛肉の平均値

「枝肉成績とりまとめ概要(平成24年度)」（平成25年10月(独)家畜改良センター）を参照

3 今後の予定について

鳥取県和牛産肉能力検定委員会での種雄牛としての選抜を審査（1月下旬）

4 用語説明

- ・鳥取県和牛産肉能力検定委員会：各関係団体、学識経験者、生産者代表で組織される委員会であり、県の種雄牛に関する事項を審議する機関
- ・現場後代検定：子供の肉質を調査し種雄牛の能力を測る試験
- ・枝肉重量：と畜後の牛肉の重量。
- ・ロース芯面積：牛肉の高級部位であるロースの大きさ。
- ・BMSナンバー：霜降りの程度を示す指標。12段階あり、大きいほど価値が高い。
和牛肉の価値を左右する最も重要な項目である。
- ・上物率：5段階ある等級のうち、上位ランクである4等級と5等級が出現する割合。
- ・5等級率：最高ランクである5等級が出現する割合。